

大隈の閣下

蕭瑟に寒威おそるるに依り
清洋を去りに際しは過日朝鮮に於て
日露協商は内閣に打言由定む
人心ヲ後耳動せしめたりと云ふ
當地に於ても亦協商の要梗ハ露
國の官報より記載したる所も不
係し當地の新聞のクリートの騒
極東の事にも差有る事も不多に
クリートの事件は最早一以テ
ヤルルは如何に成行リヤ また

乙

命降すに於て北に露國が欲仕ニ
はありとも極怪奇なる言の
報は本月十七日十八日廿三日の
聖徳に望む信持筆跡に於て
定む内閣も有る事
川生候も目下大方主隊も出陣
都念もよろしく自身はの通り
今三三ヶ月も常をせはるかの
ヲ本さるるもさう管子下
能カニ出陣するも存
先づその中上を心すまは
様にもよろしく中候を
アリサレ

徳海生

